

# スイッチのLink Layer Discovery Protocol(LLDP)ポートステータス情報の表示

## 目的

Link Layer Discovery Protocol(LLDP)Media Endpoint Discovery(MED)は、音声やビデオ、デバイスロケーション検出、トラブルシューティング情報などのアプリケーションのネットワークポリシーのアドバタイズを可能にするなど、メディアエンドポイントデバイスをサポートする追加機能を提供します。LLDPとCisco Discovery Protocol(CDP)はどちらも同様のプロトコルであり、LLDPはベンダーの相互運用性を促進し、CDPはシスコ独自のものであるという違いがあります。LLDPは、ユーザがシスコ独自ではないデバイスとシスコ独自のデバイスの間で作業する必要があるシナリオで使用できます。

LLDPプロトコルは、トラブルシューティングの目的でネットワーク管理者に役立ちます。スイッチは、ポートの現在のLLDPステータスに関するすべての情報を提供します。ネットワーク管理者はこの情報を使用して、ネットワーク内の接続の問題を修正できます。

注：スイッチでLLDPプロパティを設定する方法については、[ここをクリック](#)してください。

この記事では、スイッチのLLDPポートステータス情報を表示する方法について説明します。

## 該当するデバイス

- Sx250シリーズ
- Sx300シリーズ
- Sx350シリーズ
- SG350Xシリーズ
- Sx500シリーズ
- Sx550Xシリーズ

## [Software Version]

- 1.4.7.05 — Sx300、Sx500
- 2.2.8.04 — Sx250、Sx350、SG350X、Sx550X

## LLDPポートステータス情報の表示

ステップ1：スイッチのWebベースのユーティリティにアクセスし、[Administration] > [Discover - LLDP] > [LLDP Port Status]を選択します。



## LLDPポートステータス グローバル情報

次の情報が表示されます。

LLDP Port Status	
<b>LLDP Port Status Global Information</b>	
Chassis ID Subtype:	MAC address
Chassis ID:	40:a6:e8:e6:f4:d3
System Name:	switche6f4d3
System Description:	SG350X-48MP 48-Port Gigabit PoE Stackable Managed Switch
Supported System Capabilities:	Bridge, Router
Enabled System Capabilities:	Bridge, Router
Port ID Subtype:	Interface name

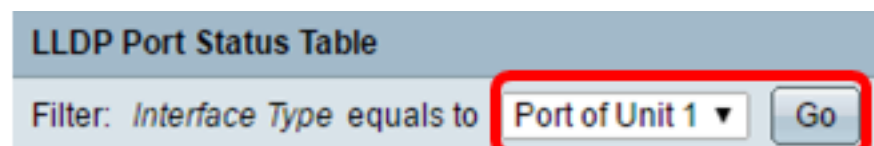
- [Chassis ID Subtype] : シャーシIDのタイプ。  
注 : この例では、[Chassis ID Subtype]は[MAC address]です。
- シャーシID : シャーシのID。シャーシIDサブタイプがメディアアクセスコントロール

(MAC)アドレスである場合、デバイスのMACアドレスが表示されます。

- [System Name] : デバイスの名前。
- [システムの説明(System Description)] : デバイスの説明 ( 英数字 ) 。
- サポートされるシステム機能 : ブリッジ、ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)アクセスポイント(AP)、ルータなどのデバイスの主な機能。
- [Enabled System Capabilities] : デバイスの主な機能。
- [Port ID Subtype] : 表示されるポートIDのタイプ。

## LLDPポートステータステーブル

ステップ2:[Interface Type]ドロップダウンリストから目的のインターフェイスタイプを選択し、[Go]をクリックします。



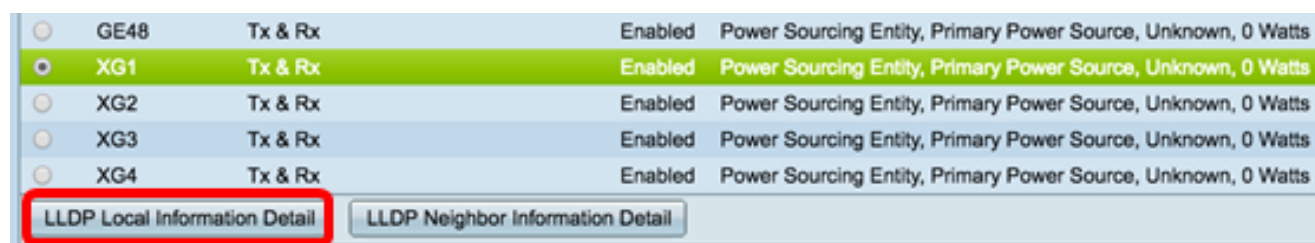
注 : この例では、ユニット1のポートが選択されています。

次の情報が表示されます。

Interface	LLDP Status	LLDP MED Status	Local PoE (Power Type, Power Source, Power Priority, Power Value)	Remote PoE(Power Type, Power Source, Power Priority, Power Value)	# of neighbors	Neighbor capability of 1st device
GE1	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts		0	
GE2	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts		0	
GE3	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts	N/A, N/A, N/A, N/A	1	Bridge
GE4	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Low, 0 Watts		0	
GE5	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts		0	

- Interface : ポートID。
- LLDP Status:LLDPパブリッシングオプション。
- [LLDP MED Status] : 有効または無効。
- ローカルPoE ( 電源タイプ、電源、電力優先度、電力値 ) : ローカルPower over Ethernet(PoE)情報がアダプタにされます。
- リモートPoE ( 電源タイプ、電源、電力優先度、電力値 ) : ネイバーによってアダプタにされたPoE情報。
- # of neighbors : 検出されたネイバーの数。
- 1番目のデバイスのネイバー機能 : ネイバーの主な機能を表示します。たとえば、次のコマンドを入力します。ブリッジまたはルータ。

ステップ3: ( オプション ) [LLDP Local Information Detail]ボタンをクリックして、LLDP Local Informationを表示します。この機能の詳細については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。



ステップ4: ( オプション ) [LLDP Neighbor Information Detail]ボタンをクリックして、LLDP

Local Informationを表示します。この機能の詳細については、[ここをクリックして手順を参照してください](#)。

<input type="radio"/>	GE48	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts
<input checked="" type="radio"/>	XG1	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts
<input type="radio"/>	XG2	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts
<input type="radio"/>	XG3	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts
<input type="radio"/>	XG4	Tx & Rx	Enabled	Power Sourcing Entity, Primary Power Source, Unknown, 0 Watts
<input type="button" value="LLDP Local Information Detail"/>		<input checked="" type="button" value="LLDP Neighbor Information Detail"/>		

これで、スイッチのポートステータス情報が表示されるはずです。